

ALLION Ultimate

=究極のアンプ



「オーディオ銘機賞2010」受賞

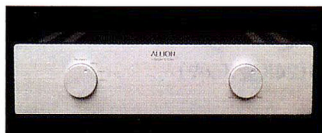
Stereo Amplifier S-200

(¥693,000、ステレオパワーアンプ)

限りなくS/Nに優れたドライブ力十分
クセがなくソースを忠実に再現する

左右の基盤と放熱板独立による、セパレーションの改善を実現させたモデル。マルチ再生など、能率の違うユニット等の使用時に必須かつ最適な機能である、±6dBのゲインコントロールを装備。出川式電源をフル装備

SPEC ●周波数特性:20Hz~120kHz(+0/-3dB) ●アンプゲイン:19dB~31dB(標準25dB、2dBステップ可変式) ●出力:200W/ch(8Ω) ●SN比:102dB以上(A-WTD) ●入力インピーダンス:20kΩ ●歪率:0.1%以下(1kHz AN-WTD 200W出力時) ●入力端子:バランス(XLRコネクタ) ●定格電圧:100/200V切り替え式 ●サイズ:442W×123H×386Dmm ●質量:約15kg ●保証期間2年間



Ultimate T-125sv

(¥630,000、プリメイン上級機)

出力125W/ch(8Ω)。高級電解コンデンサを採用し更に部品を厳選。音質劣化の原因となるヒューズを排除し、プレーカースイッチを採用。回路の見直しと、出川式電源の全体的バージョンアップでSN比を改善

SPEC ●周波数特性:20Hz~120kHz(+0/-1.5dB) ●定格出力:125W/ch(8Ω) ●SN比:86dB ●定格電圧:100/200V切り替え式 ●サイズ:442W×119H×376Dmm ●質量:約14kg ●保証期間2年間 ●出力100W/ch(8Ω)のプリメイン姉妹機、Ultimate T-100(¥346,000)もあり

吹き抜けの天井が印象的な Kurizz-Labo 軽井沢試聴室は、自家焙煎の珈琲も秀逸。愛聴盤で DEQX の有無比較などが体験できる(予約必要)。所在地は長野県北佐久郡軽井沢町 追分 1583-10
TEL&FAX: 0267-45-6166
http://www.kurizz-labo.com



システムと部屋の弱点を補正し、理想の特性と音を実現させる DEQX。その厳しい要求を満たすアンプとして、栗原さんからの依頼で ALLION の S-200 が誕生した



DEQX の最高級プリアンプ&プロセッサー HDP-3(¥642,000、下)。100V/200V切り替えアナログ式シリーズ電源を搭載し、デジタル/アナログ2種類の出力ボードをオプションで同時に搭載可能(自分で測定と調整・設定を行う場合は別売の標準マイクと設定ソフト ¥40,000が必要)。右上は、Kurizz-Labo 開発の、DEQX 用ボリュームレベル表示器 KLM-1(¥45,000)。(0~120dB)



HDP-3 からプリアンプ機能を省いた姉妹機、HDP-Express Processor(¥420,000)も新登場。DEQX 社は、Digital Audio Workstation で世界 No.1 の実績を持つフェアライト社(豪州)の創業者の一人、キム・ライリー氏が2003年5月に創設。DSP と高度なソフトウェア技術、アルゴリズム開発、高精度な音響測定技術による新ジャンルのオーディオ製品として2005年に製品を発売開始。DEQX の基本設定はパソコンが必要だが、パソコンが苦手な方は出前セッティングも実施



「栗原様をはじめ、ゾノーンの前園社長、ケーブルの ASUKA 末岡様、音楽評論家の成田正先生、田中伊佐資先生など、錚々たる“音のプロ”の方々にご愛用いただいていることは ALLION の品質の証明でもあり、たいへん有り難く思っています。アンプをお選びの際は、ぜひ ALLION も試聴していただきたいと念願しています。」と語る(株)出水電器の島元社長。

●極限の性能を追い込んだパワーアンプ DEQX の高性能を生かせる新鋭機 音のプロも大評判の S-200 が誕生

に何年にも渡ってオーディオの原稿を書いていたことがある。自宅試聴はもちろん、国産アンプのほとんどは、天板を開けて中味を見ている。回路やパーツの良し悪しに疎いばかりは、ALLION を鑑定してもらいたいという気持ちもあり、見てもらうことにした。その時の感想としては「これは本物ですね。大手メーカーとはひと味もふた味も違う。ハンドメイドの良さがあり、しかも素人臭くない。本当に分かっている人が作っています」ということだった。ただし人のアンプを見て、時代遅れの回路ですねとか言うわけがないので、社交辞令だと思っていたら、本当に心底そう思っていたことが分かった。後に、クリズラボと出水電器とのコラボレーションで、パワーアンプ S-200 ができ上がるのである。

栗原さんは DEQX の販売を開始してからアンプはどうしたらいいのかというお客さんからの問い合わせが多くなった。当初、リーズナブルで納得できる製品が世の中にないため、自作品を供給していた。ようやく、誰にでも推薦できるメーカーに巡り会ったと確信した。

製品化に向けて、栗原さんの強いリクエストは「能率の高いドライバーを使うので、音が出ていないときでもサーというノイズが出てくるのは許せない。限りなく静かであって欲しい」ということだった。試作品は一般レベルでは十分なものだったが、栗原さんは承諾せず、さらに追い込んだものが製品化された。

肝心の音についても、もちろん絶賛している。「有名な国産 A 級アンプを十数年間使っていたんですが、さらに切れ込みの良さがある。少し最低域が膨らんでいたが、それがなくなった。ドライブ能力が高いですね。また、中高域はあまりにもクセがない。ソースの音を忠実に再現しています」

栗原さんは、システムのチューニングで何か迷いが生じると、録音現場の生音に近いと判断している。スタックスのコンデンサー型ヘッドホンで確認している。「この音と ALLION に差異がなく、これはアンプとして大合格です」と太鼓判を押す。

また、さらにこうも言う。

「このアンプの凄さは熱を出さないことです。私はアンプを作っているのによく分かるんですが、ここまでアイドリング電流を抑えてこの音を出すというのは、相当回路できちっと対処したうえで各パーツを厳選しないと絶対無理です。200ワットのアンプで、これほど熱くならないというのはありえないでしょう」

栗原さんのおのれの腕一本(耳)一つで、失敗が許されない放送業界のトップで活躍してきた人だ。すべての発言に、言い知れぬ説得力がこもっていた。

栗原さんの音をこう聴いた

緻密で滲みない定位と抜群の空間性 アナログ盤も鮮度が高く色っぽい

田中
伊佐資

スピーカーは TAD のユニットを中心にしたホーンシステムで、ウーファーは 250 リットル完全密閉箱に収めている。その通りの大型スピーカーだが、大味なところがまったくない。エンジニアが DEQX の機能を最大限生かすと、ここまで緻密な音を再現できるのかと思うし、2 台の S-200 は難易度の高い要求に応えているようにも見えた。滲みがない音の定位、前方に出現する空間の表現はバツグンで、迫力・辺倒というような、見かけの印象を気持ちよく裏切ってくれる。栗原さんはアナログも好きで、ナット・キング・コールや高橋真梨子、南佳孝などの古い盤もかかり、これがすごい鮮度だった。少しウェットな色っぽさもあった。DEQX に少しでも興味を抱いたマルチ・アンプ・ユーザーは、一度はクリズラボを訪れるべきだと思う。

※究極の選択、特注アンプ製作承ります!

貴方のための、世界に1台のアンプを作りませんか?

製作例:S-100(ステレオパワーアンプ100W/ch、電源左右独立)、M-300(モノラルパワーアンプ300W)、T-200sv(プリメインアンプ200W/ch、電源左右独立)

- こだわりのオーディオ用電源工事、大好評にて施工中(詳細は136号までの当連載ページ、もしくは下記ウェブを参照)
- 西蒲田事務所、毎月末に試聴会を開催(要予約)。ここでも DEQX と ALLION S-200 を体験可能

★9月25日(土)に DEQX と ALLION の実演イベントを実施!

東京西蒲田にて、Kurizz-Labo 栗原氏を招いての DEQX デモンストラレーション&試聴会を開催。DEQX が、システムと部屋の音響特性を補正して理想の音に改善する効果を、貴方の目と耳でぜひご確認ください。参加ご希望の方は以下へご予約を(無料、詳細は下記ホームページをご覧ください)

●取り扱い:(株)出水電器 URL: http://www.allion.jp
[東京・西蒲田事務所] 〒144-0051 東京都大田区西蒲田 2-1-6
TEL: 03-3755-5558 FAX: 03-3755-5749
[試聴室] TEL: 055-944-1044 (伊豆の国市)